ツバメ 追加 HO E ルルとともに、母のもとへと急ぐ。

日が暮れるころにはイルム、そして俺の家――薬屋クロラントへた どり着いた。

父に事情を話し、三人で母の寝室へ入る。

状態を確認したルルは、万能薬を取り出した。

母に飲ませるとみるみる顔色が良くなっていく。

やっぱり、この薬は本物だ。

目を見張る父にルルは言った。

「どうかこのことは秘密にしてほしい」と。

俺からもと頭をさげれば、父はゆっくりとうなずいた。

ふたりでリーファに戻ろうとしたけれど、雪が降りはじめていた。 父の勧めで泊まっていくことになり、久しぶりに自室で過ごす。 ルルは空き部屋に通されたようだ。

懐かしいベッドに横になりながら、頭は自然とルルのことを考える。

彼女を騙していた事実が消えるわけじゃない。

でも俺は――本当のことを話して、許してもらえて……。

明日、薬屋リーファに戻ったら、いつもと変わらない日々が過ぎていくだろう。

それでいいはずなのに、彼女を思うたびに淡い気持ちが膨らんでい く。

俺は、その気持ちを――。

選択肢

1.気持ちを胸の内にしまう 2.気持ちを伝える

シーンを進めるとココフォリア上に選択肢が表示されるので、 自身の選択を左クリックしてください。